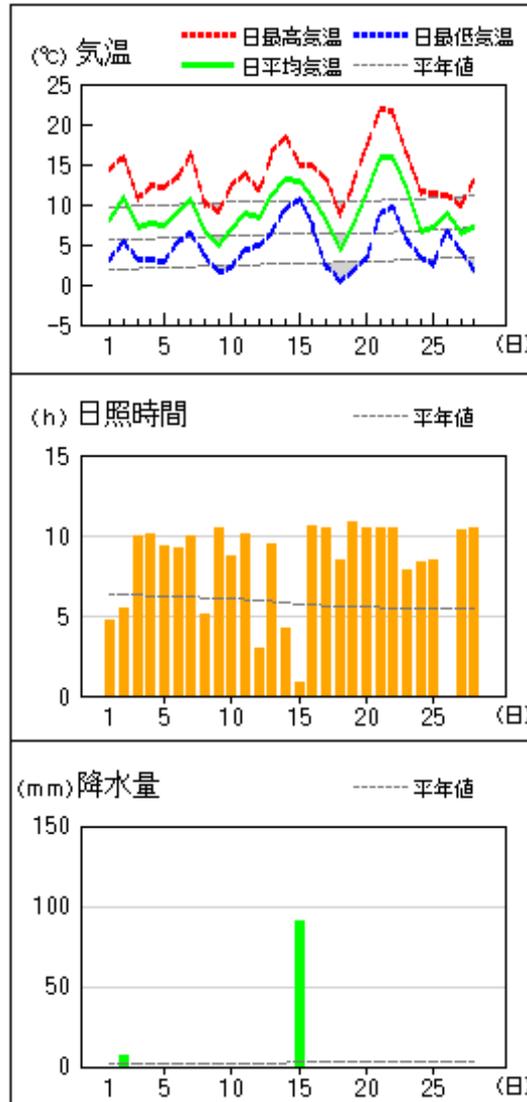


神奈川県 of 気象概況

令和3年(2021年)2月

横浜の気象経過



横浜の気象値

()内は平年値

	平均気温(°C) 階級区分	日照時間(h) 階級区分	降水量(mm) 階級区分
上旬	8.0 (5.7) かなり高い	82.9 (60.8) かなり多い	7.0 (17.3) 平年並
中旬	9.7 (6.3) かなり高い	78.2 (55.3) 多い	90.5 (29.3) かなり多い
下旬	10.0 (6.8) かなり高い	66.3 (47.8) かなり多い	0.0 (20.9) かなり少ない
月	9.1 (6.2) かなり高い	227.4 (164.0) かなり多い	97.5 (67.5) 多い

横浜地方気象台

【目次】

目次	1
気象概況	2
話題	3
気象分布図	4
気象経過図	5
特別警報・警報・注意報の発表状況	7
冬（12月～2月）の天候	11

(注) 2021年3月2日よりアメダス観測地点の日照計による日照時間の観測を終了し、気象衛星観測のデータを用いた「推計気象分布（日照時間）」から得る推計値をアメダス観測地点の日照時間データとして提供しています。これに伴いアメダスの平年値も同日より推計値相当に補正したものに更新しています。

一方、本資料に掲載している日照時間は日照計による観測データであることから、平年比を算出するための平年値も2021年3月1日まで使用していた更新前の値を用いています。気象庁ホームページの過去の気象データ検索等で提供している現在の平年値を用いた場合と値が異なりますのでご承知おきください。

「神奈川県気象概況」の取り扱いについて

◎ 横浜地方気象台 2021

- ① 本資料は、横浜地方気象台ホームページの利用規約に準拠します。
(<https://www.data.jma.go.jp/yokohama/shosai/03-about/01-sosiki/02-copyright.html>)
- ② 本資料に含まれているデータ等を利用した場合は、「横浜地方気象台提供」と明記願います。



問い合わせ先：横浜地方気象台

TEL：045(621)1999

ホームページ <https://www.data.jma.go.jp/yokohama/index.html>

【気象概況】

大陸の高気圧の勢力が弱く寒気の影響を受けにくかったため、冬型の気圧配置は長続きせず、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。

県内の各観測点の月平均気温は 7.9～9.5℃で、全地点で平年よりかなり高くなりました。月間日照時間は 214.6～228.2 時間で、全地点で平年よりかなり多くなりました。月降水量は 55.5～204.5mm で、平年より多いか、平年並となりました。

上旬：高気圧に覆われたことや冬型の気圧配置となり晴れた日が多くなりましたが、寒冷前線の通過や気圧の谷の影響により雨が降った日もありました。

旬平均気温は 6.5～8.4℃で、平年よりかなり高い地点が多くなりました。旬間日照時間は 79.2～84.6 時間で、全地点で平年よりかなり多くなりました。旬降水量は 2.5～107.0 mm で、平年並のところが多くなりましたが、箱根では平年よりかなり多く、相模湖では平年より少なくなりました。

- 1 日 日本の東の高気圧に覆われましたが、湿った空気や前線の影響を受け、曇一時雪後晴。
- 2 日 寒冷前線が北日本から東日本を通過した後、次第に冬型の気圧配置となり、雨後曇時々晴。
- 3 日 冬型の気圧配置が続き、晴。
- 4 日 日本海の低気圧からのびる寒冷前線が関東地方を通過した後、北日本中心の冬型の気圧配置となり、晴。
- 5 日 高気圧に覆われましたが、次第に気圧の谷や湿った空気の影響を受け、晴時々曇。
- 6 日 高気圧に覆われ、晴一時曇。
- 7 日 はじめ高気圧に緩やかに覆われましたが、寒冷前線が東日本を通過した後は冬型の気圧配置となり、晴。
- 8 日 冬型の気圧配置となりましたが、気圧の谷や湿った空気の影響により、曇後晴一時雨。
- 9 日 冬型の気圧配置となりましたが、次第に高気圧に覆われ、晴。
- 10 日 高気圧に覆われましたが、気圧の谷や湿った空気の影響により、晴時々曇。

中旬：前半は高気圧に覆われた日が多くなりましたが、湿った空気の影響により曇りの日がありました。一方、後半は冬型の気圧配置となり晴れた日が多くなりました。15 日は低気圧が関東地方沿岸を通過した影響で大雨となりました。

旬平均気温は 8.4～10.3℃で、全地点で平年よりかなり高くなりました。旬間日照時間は 72.9～78.2 時間で、全地点で平年より多くなりました。旬降水量は 53.0～94.0 mm で、全地点で平年より多く、辻堂や横浜などでは平年よりかなり多くなりました。

- 11 日 高気圧に覆われ、晴。
- 12 日 高気圧に覆われましたが、気圧の谷や湿った空気の影響により、曇。
- 13 日 高気圧に覆われましたが、湿った空気の影響により、晴一時曇。

- 14日 高気圧に覆われましたが、湿った空気の影響により、曇後晴。
- 15日 低気圧が発達しながら関東地方沿岸を通過した影響で、大雨時々曇。
- 16日 冬型の気圧配置となり、晴。
- 17日 冬型の気圧配置となり、晴。
- 18日 強い冬型の気圧配置が続きましたが、上空の気圧の谷の影響により、晴時々曇。
- 19日 冬型の気圧配置は次第に緩み、日本の南に張り出す高気圧に覆われ、晴。
- 20日 高気圧に覆われ、晴。

下旬：高気圧に覆われたことや冬型の気圧配置となったことにより晴れた日が多くなりましたが、期間の中頃は、気圧の谷や湿った空気の影響により曇りや雨の日もありました。

旬平均気温は8.8～10.0℃で、全地点で平年より高く、横浜では平年よりかなり高くなりました。旬間日照時間は60.0～66.3時間で、全地点で平年より多く、横浜では平年よりかなり多くなりました。旬降水量は0.0～4.5mmで、箱根以外では平年よりかなり少なくなりました。

- 21日 高気圧に覆われ、晴一時曇。
- 22日 高気圧に覆われ、晴一時曇。
- 23日 冬型の気圧配置となりましたが、伊豆諸島付近は気圧の谷となり、晴時々曇。
- 24日 冬型の気圧配置が続きましたが、関東地方沿岸は気圧の谷となり、晴後一時曇。
- 25日 高気圧に覆われましたが、気圧の谷や湿った空気の影響により、晴時々曇。
- 26日 気圧の谷や湿った空気の影響により、曇時々雨。
- 27日 高気圧に覆われ、晴一時曇。
- 28日 高気圧に覆われ、晴。

【話題】

記録的な高温・多照

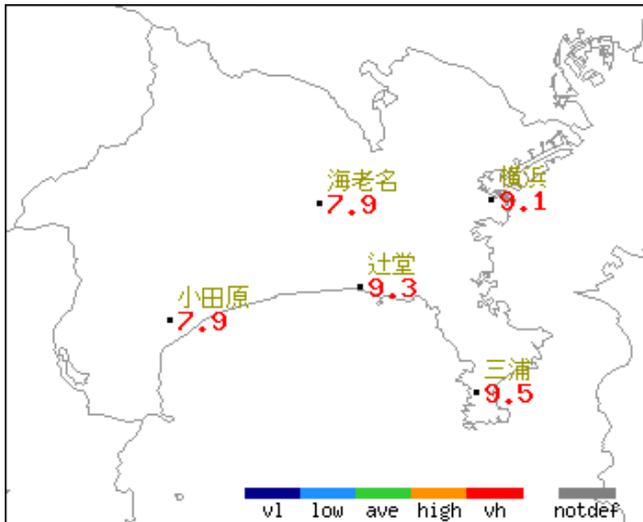
寒気の南下が弱く、高気圧に覆われることが多かった2月は記録的な高温となり、県内すべての観測地点（5か所）で2月の月平均気温1位を更新しました。

また、日照時間も多く、2地点で2月の月間日照時間の1位となったほか、2地点で2位となるなど、記録的な高温・多照となりました。

【気象分布図】

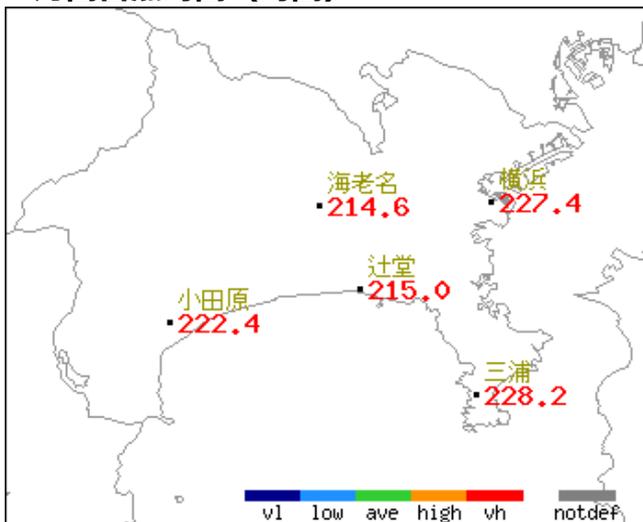
令和3年(2021年) 2月

月平均気温 (°C)



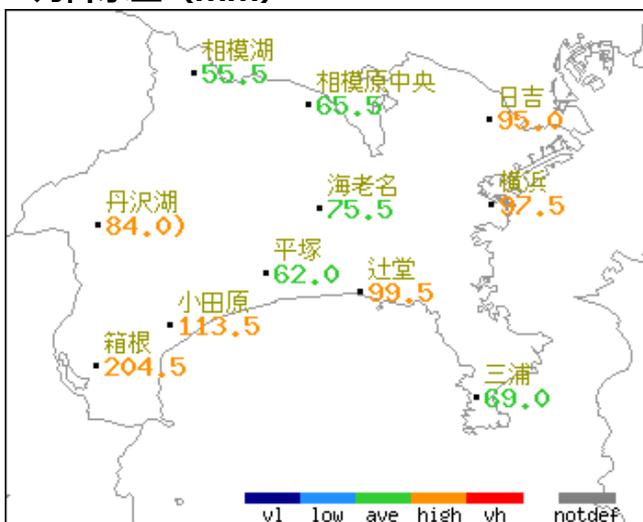
地点名	実況値	平年値	平年差(°C)
海老名	7.9	5.3	+2.6
横浜	9.1	6.2	+2.9
辻堂	9.3	6.7	+2.6
小田原	7.9	5.8	+2.1
三浦	9.5	6.6	+2.9

月間日照時間 (時間)



地点名	実況値	平年値	平年比(%)
海老名	214.6	158.4	135
横浜	227.4	164.0	139
辻堂	215.0	169.4	127
小田原	222.4	150.9	147
三浦	228.2	165.1	138

月降水量 (mm)



地点名	実況値	平年値	平年比(%)
相模湖	55.5	58.0	96
相模原中央	65.5	64.9	101
日吉	95.0	58.1	164
丹沢湖	84.0	83.7	100
海老名	75.5	68.4	110
横浜	97.5	67.5	144
平塚	62.0	62.6	99
辻堂	99.5	57.7	172
箱根	204.5	149.8	137
小田原	113.5	94.5	120
三浦	69.0	69.8	99

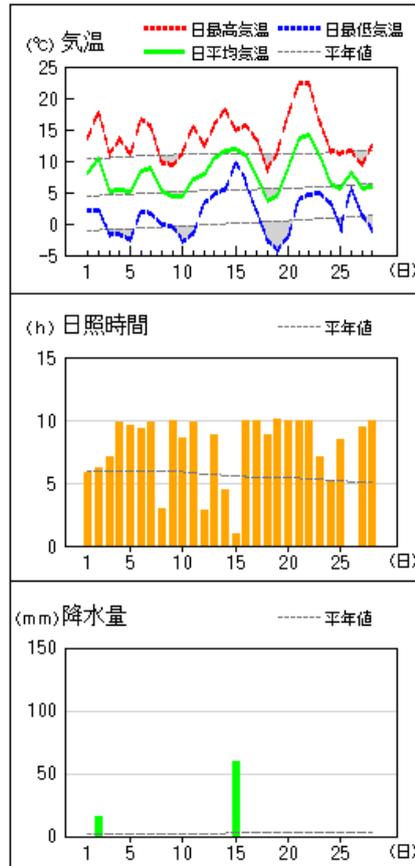
※丹沢湖のデータは、障害のため欠測があります

凡例) : 準正常値] : 資料不足値 × : 資料なし

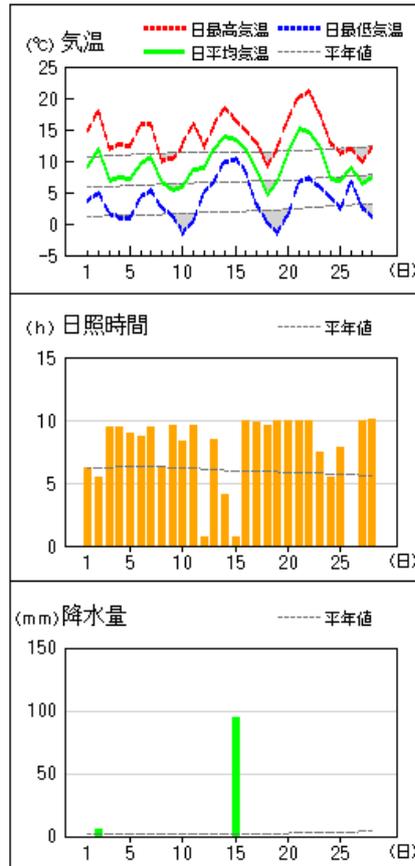
【気象経過図】

令和3年(2021年) 2月

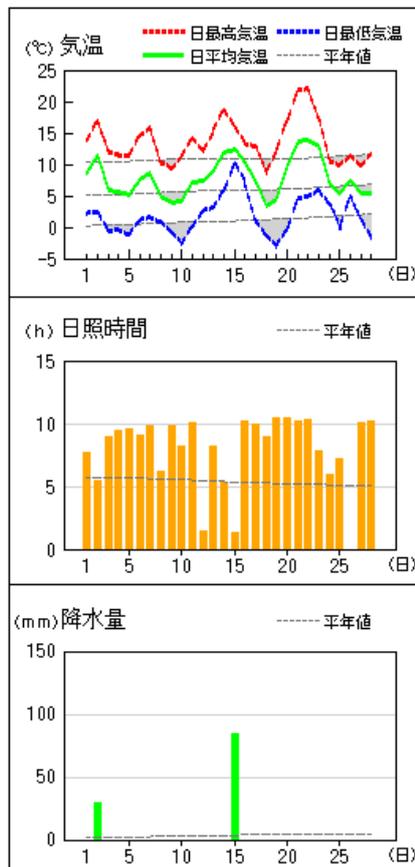
海老名



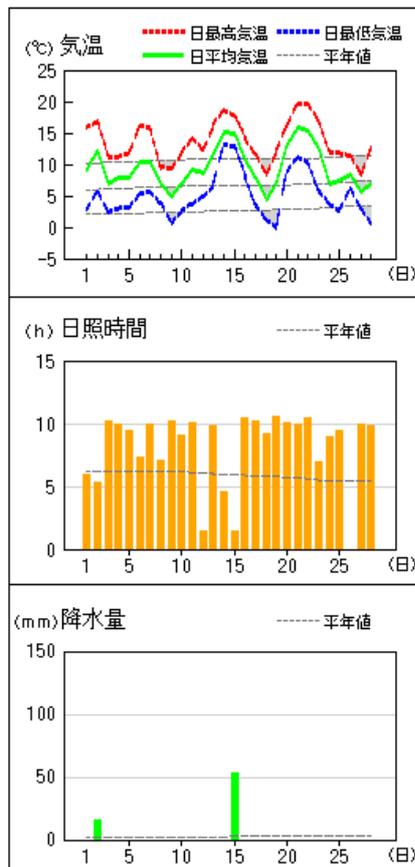
辻堂



小田原



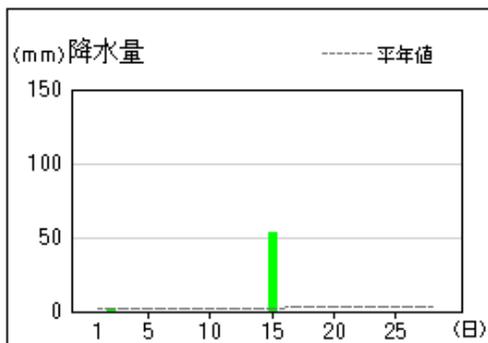
三浦



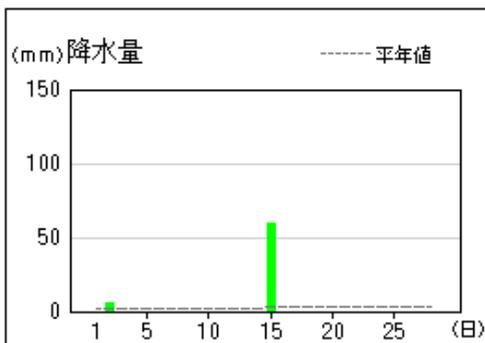
【気象経過図】

令和3年(2021年) 2月

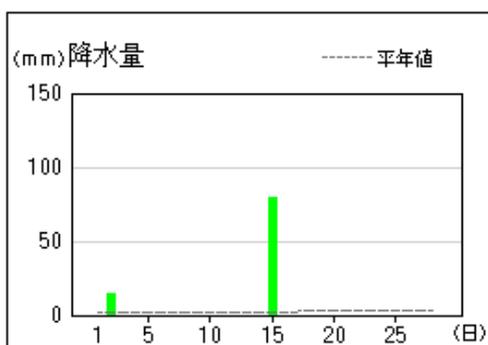
相模湖



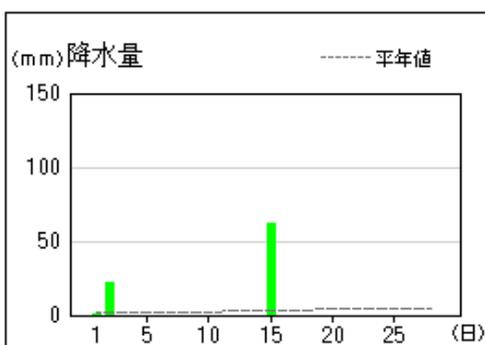
相模原中央



日吉

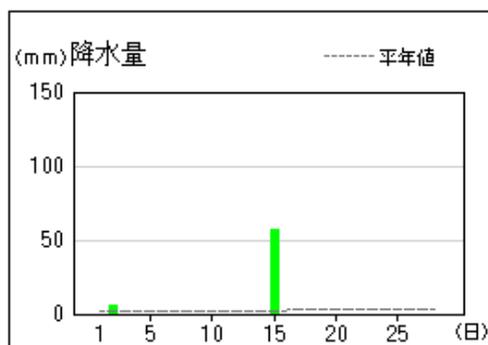


丹沢湖

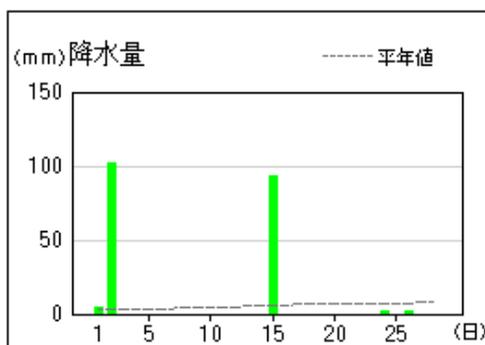


※丹沢湖のデータは、障害のため欠測があります

平塚



箱根



【冬の天候】 令和2年(2020年)12月～令和3年(2021年)2月

<気温>

気温は、前半は寒気が流れ込んだ時期もあり平年並でしたが、後半は寒気の南下が弱く、また、暖かい空気が流れ込んだ時期もあり、平年より高くなりました。

横浜の冬の平均気温は8.0℃で、平年よりかなり高くなりました(平年:6.8℃)。

<日照時間>

日照時間は、前半は平年並でしたが、後半は高気圧に覆われやすくなったため、多くなりました。

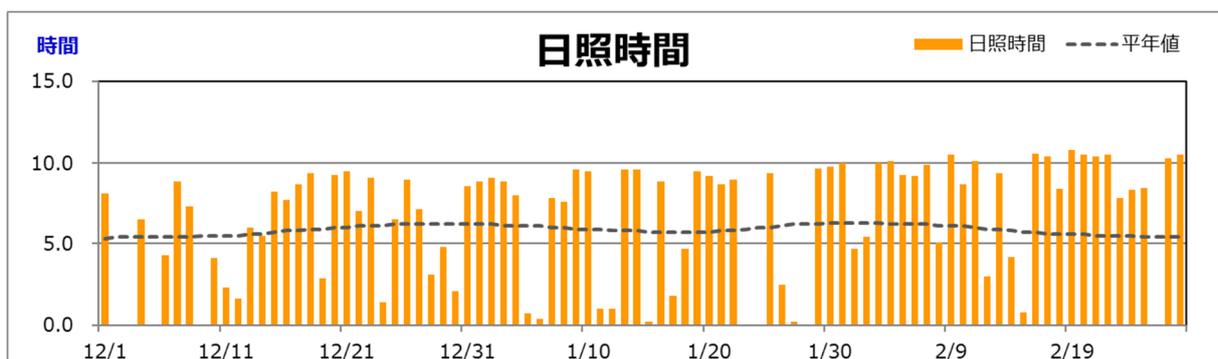
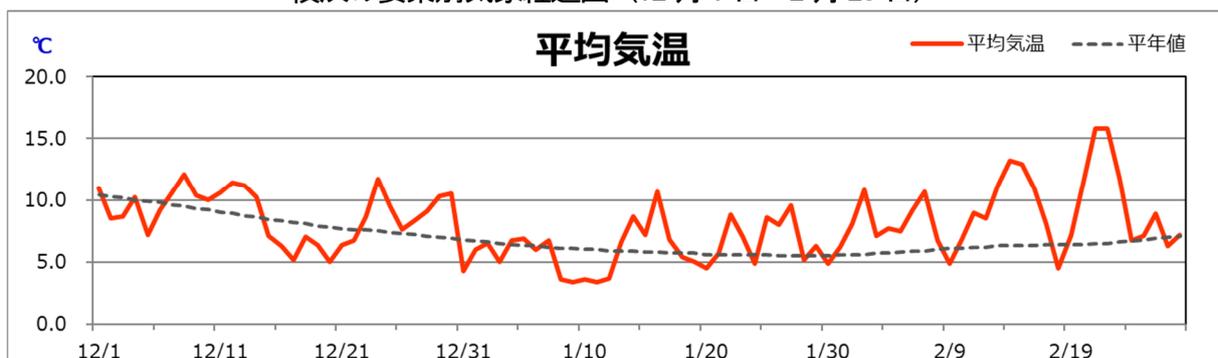
横浜の冬の日照時間は581.7時間で、平年より多くなりました(平年:530.8時間)。

<降水量>

降水量は、前半は平年より少ないか、平年並でしたが、後半には低気圧の影響などで平年より多くなった時期がありました。

横浜の冬の降水量は161.5mmで、平年並となりました(平年:176.9mm)。

横浜の要素別気象経過図(12月1日～2月28日)



情報の閲覧・検索のご案内

掲載されていないデータや最新のデータについては、気象庁ホームページ(<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>)や、横浜地方気象台(<https://www.data.jma.go.jp/yokohama/>)の神奈川県版気象庁HPデータリンク集をご覧ください。

☆神奈川県版データリンク集からのデータ検索や取得

(<https://www.data.jma.go.jp/yokohama/shosai/01-bosai/02-tebiki/01-datalink/>)

- 警報・注意報、気象情報・・・神奈川県の現在発表されている情報が閲覧できます。
- 過去の気象災害・・・神奈川県の主な災害を閲覧できます。
- 天気予報、週間予報、1 か月予報、2 週間気温予報、早期天候情報、3 か月予報・・・現在発表されている情報を閲覧できます。
- 台風経路図・・・過去の台風の経路の資料を検索できます。

☆気象庁HPからの観測データの検索や取得

- 過去の気象データ・ダウンロード・・・昨日までの気象観測データから、複数地点の複数項目を、数日間の平均・合計値の集計や平年値や最近の数年間平均値と比較することができます。データは CSV ファイルとしてダウンロードできますので、簡便に市販の表計算ソフトに取り込むことができます。

(<https://www.data.jma.go.jp/gmd/risk/obsdl/index.php>)

- 神奈川県内の極値・順位値更新・・・極値・順位値の状況を閲覧できます。
(<https://www.data.jma.go.jp/yokohama/shosai/01-bosai/01-sizen/03-ruinen-jun-i/>)
- 天候の状況・・・低温・少雨・日照不足などの状況を、全国各地の気温・降水量・日照時間の 5 日以上平均(合計)値やその平年差・平年比でも検索できます。
(<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/tenkou/indexTenkouTem5dhi.html>)
- 気候リスク管理・・・向こう 2 週間・1 か月の予測資料が閲覧できます。
(<https://www.data.jma.go.jp/gmd/risk/index.html>)
- 地球環境・気候・・・異常気象、最近の天候、地球温暖化に関するリンクがまとめられています。(<https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/menu/index.html>)
- 生物季節観測の情報・・・生物季節観測の情報が閲覧できます。
(<https://www.data.jma.go.jp/sakura/data/index.html>)
- 過去の災害をもたらした台風・大雨・地震・火山噴火等の自然現象のとりまとめ資料・・・暴風・豪雨・地震等の自然現象による災害が発生した場合に、災害を引き起こした現象や気象庁のとった措置等の概要を取り纏めた災害時自然現象報告書を閲覧できます。
(http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/saigai_link.html)
- 関東甲信地方版「農業に役立つ気象情報の利用の手引き」・・・農業分野において、気象情報をさらに効果的に利用していただくための手引きです。
(<https://www.data.jma.go.jp/tokyo/shosai/umi/ntebiki/index.html>)

資料についての説明

平年値の統計期間は以下を除き 1981 年～2010 年。

辻堂は 1992 年～2010 年。日照時間の海老名、小田原は 1986～2010 年。日照時間の三浦は 1987～2010 年。

(注) 2021 年 3 月 2 日よりアメダス観測地点の日照計による日照時間の観測を終了し、気象衛星観測のデータを用いた「推計気象分布(日照時間)」から得る推計値をアメダス観測地点の日照時間データとして提供しています。これに伴いアメダスの平年値も同日より推計値相当に補正したものに更新しています。

一方、本資料に掲載している日照時間は日照計による観測データであることから、平年比を算出するための平年値も 2021 年 3 月 1 日まで使用していた更新前の値を用いています。気象庁ホームページの過去の気象データ検索等で提供している現在の平年値を用いた場合と値が異なりますのでご承知おきください。

文中、図中の「平年並(ave)」、「高い(多い、high)」、「低い(少ない、low)」、「かなり高い(かなり多い、vh)」、「かなり低い(かなり少ない、vl)」は解説用階級区分値による。

解説用階級区分値：ある気象要素の分布を、値の大(高)、小(低)によって複数の群(階級)に分けたとき、各群の境界値を階級区分値といい、平年よりの違いの程度を平文で表す場合に用いている。

平均気温(℃)：旬平均は日平均気温の期間平均値。日平均気温は 1 日の毎正時(1 時～24 時、日本標準時、以下同様)の気温(24 回)の平均値。平年差は平年値との差(℃)。

日照時間(h)：旬合計は日の日照時間の期間合計値。日の日照時間は 1 日の毎正時の日照時間(24 回)の合計値(日の日照時間)。0.1 時間未満は「0.0」で表す。平年比は平年値に対する比(%)。

降水量(mm)：旬合計は日降水量の期間合計値。日降水量は 1 日の毎正時の降水量(24 回)の合計値。0.5mm 未満、無降水は「0.0」で表す。平年比は平年値に対する比(%)。

正時の日照時間(降水量)は、前 1 時間の観測値を合計した日照時間(降水量)である。

準正常値：統計値を求める対象となる資料の一部が欠けているが許容する資料数を満たす場合をいい「」を付ける。

資料不足値：統計値を求める対象となる資料が許容する資料数を満たさない場合をいい「」を付ける。

資料なし：統計値を求める対象となる資料が参考値もなく欠測により全くない場合をいい該当欄を「×」とする。

横浜の天気の日々の天気は、横浜の昼(6 時～18 時)の天気概況。ただし、夜間急変した場合は夜(18 時～翌日 6 時)の天気も記載する。

神奈川県 of 気象概況

令和3年（2021年）2月号

編集・発行 横浜地方気象台

発行日 令和3年3月11日

横浜地方気象台

所在地

〒231-0862

神奈川県横浜市中区山手町99

電話 045-621-1999

ホームページ <https://www.data.jma.go.jp/yokohama/>

気象台へのアクセス

